

# 令和6年度 指定管理施設評価票

## 1 基本情報 (令和7年3月31日時点)

施設名	港区立児童発達支援センター						
指定管理者	社会福祉法人 友愛十字会						
指定期間	令和2年4月1日～令和12年3月31日						
募集方法	公募	グループ化の有無	—	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

## 2 職員体制 (単位:人)

職員数	正規			非正規			計画(シフト制・パート・センター等)	合計
	常勤	非常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤		
	71	71		10		10		81
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		備考
正規・非正規職員の退職者数		9	12	12	13	11		

## 3 指定期間における事業実績

事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
児童発達支援事業年間延利用者数	9,325	14,597	16,445	16,124	16,846	通園事業実施：週5クラス6人、週2クラス22人
放課後等デイサービス年間延利用者数	475	912	875	689	514	放課後等デイサービス定員：27人
居宅訪問型児童発達支援年間延利用者数	39	188	128	32	38	
保育所等訪問支援年間延利用者数	37	115	171	137	99	
障害児・計画相談支援年間延利用者数	1,257	1,658	1,428	1,306	1,608	
総合相談年間延利用者数	5,175	3,385	3,421	3,671	3,390	

## 4 指定期間における経費実績 (単位:円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入	584,833,142	607,203,979	661,405,076	674,992,563	728,926,872	
指定管理料(清算後)	473,572,900	413,862,181	439,480,313	459,618,849	469,585,317	
利用料金収入	107,004,267	188,202,898	211,685,166	205,273,003	238,701,210	
その他収入	4,255,975	5,138,000	10,239,597	10,100,701	20,640,345	
支出	584,833,142	590,875,550	597,713,518	639,579,175	691,298,435	
職員人件費	355,606,395	362,038,718	364,505,555	404,215,852	453,234,162	
光熱水費	4,297,690	4,766,362	6,343,771	5,638,163	5,861,628	
修繕費	647,570	1,792,890	3,057,450	1,486,848	962,769	
事業運営費	213,533,388	211,804,477	213,235,648	217,655,038	218,506,955	
施設管理経費	6,748,099	6,473,103	6,571,094	6,583,274	8,723,031	
その他経費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	
差引収支額	0	16,327,529	63,691,558	35,413,378	37,628,437	
年度協定書で定める指定管理料	431,138,446	435,352,549	439,485,360	468,702,172	470,152,153	

## 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価				区による評価			
		評価	加算	減算	点数	評価	加算	減算	点数
① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	5 / 5	
② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	5 / 5	
③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	5 / 5	
④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募制の授業や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×	3 / 5	×	×	15 / 25	
⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×	3 / 5	×	×	6 / 10	
⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	5 / 5	
⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	10 / 10	
⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	15 / 15	
⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	5 / 5	
⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×	5 / 5	×	×	15 / 15	
					区による評価合計点				86 / 100

【各項目の評価について】  
 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。  
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。  
 1点：当該項目に係る事項については、要する取組の推進が必要であった。  
 ※総合評価の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	児童発達支援センターの中核機能の更なる強化のため、外部専門家による保護者勉強会(年1回)、通園利用児の保護者向けの研修(年4回)、児童発達支援と放課後等デイサービスの個別支援利用児の保護者向け研修(年5回)、年少児以上の保護者向け就学勉強会(年2回)、保育園、幼稚園向け事業説明会(年4回)等を実施しました。 通園事業(週5日クラス、週2日クラス)については、通園利用希望者は増加傾向であり、特に週2日クラスのニーズが高い傾向があるため、定員枠を拡大し受け入れを実施し、令和6年度末では、通園待機を0名とすることができました。 乳幼児期の子どもの発達に不安を抱える保護者の受け皿として親子サロン事業「はったつひろば」を展開し、4か所を実施し、次年度は区内5支所の管内それぞれで展開する予定です。
区(施設所管課)による評価	発達遅れの程度が重い利用児童が多くなる傾向にある中、児童の状況にあわせた児童発達支援をはじめとする各事業に着実に取り組んでいます。 また、令和6年4月の改正児童福祉法施行により、児童発達支援センターの地域での中核的役割が明確化されたことを受け、民間事業者向け勉強会や学習クラブへの支援を新たに開始しています。さらに、利用者から要望のあった「紙おむつ定期利用サービスの導入」や「障害保健福祉センターでの個別支援実施」などへの対応も含め、サービス向上に向けた取組を進めています。 令和7年度は、民間事業者や保育園、学習クラブ等との連携強化による地域の障害者支援の更なる底上げ、引継ぎの課題であるインタビュー(初回面談)までの待機期間短縮の取組など、地域の中核的な療育支援施設としての機能拡充に向けて、指定管理者と連携・協力して取り組めます。

## 6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価	A
--------------------	---

【総合評価について(項番5における区による評価合計点の得点率)】  
 S：施設の管理運営は特に優れていた(90%以上)  
 A：施設の管理運営は優れていた(80%以上90%未満)  
 B：施設の管理運営は適切に行われていた(60%以上80%未満)  
 C：施設の管理運営に改善が必要であった(60%未満)